

- ① 開催年月日 令和4年4月28日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員講話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名  
出席委員数 6名  
放送事業者側出席者 局次長、ディレクター

④ 議題

(1) 「ふるさと見聞帖」令和4年3月11日放送

(2) 報告事項

パーソナリティ募集について  
職場体験の受け入れについて  
まちかどヴォイスアーカイブYouTube配信について

- ⑤ 議事の概要 朗読のスピードや、声のトーンは聞きやすかった。本文の解説や背景を伝えるなどし、内容に厚みを持たせる工夫を。朗読だけではなく、専門の方をゲストと共にトークができる番組構成も検討してはどうか。地域の昔の出来事や災害など、振り返り伝えていくことは意義がある。久御山だけではなく宇治、城陽でも同様の試みをしては。などの意見が多数出された。

⑥ 審議内容

ディレクター 今日は、「ふるさと見聞帖」の審議をお願いします。

この番組は、毎週金曜日の午後6時から10分間の番組です。

久御山町郷土史会会長の阪部五三夫さんの執筆で、久御山町の風習、伝統行事などを歳時記として以前久御山町の広報誌「広報くみやま」に連載されていたものを朗読しています。今も残る久御山の風習や伝統行事、季節のできごとについて連載当時の記録や伝聞を元に、克明に、そして親しみやすく語られています。

今回は「巨椋池の水生植物～我が国の8割余りが生育」の放送回の審議をお願いします。

～ 同 録 ～

委員 ナレーターのスピードや声のトーンは聞きやすかったのですが、話の内容に対してもう少し落ち着いた声の方がいいと思いました。

文章の背景や内容をどの様に理解して読むか意識してほしいですね。

委員長 放送時間は夕方6時ですか。この時間帯にリスナーは聴いて頂けるのでしょうか。

こういったテーマの番組は夕方6時の放送には向いていないかもしれませんね。夕方は帰宅したりと、動いている方が多いのではないのでしょうか。リスナーの生活リズムに合った時間帯に放送するべきでは。

委員 今回は巨椋池に生息した水生植物がテーマでしたが、絵面がない分、想像しにくく内容が入りにくかったです。放送前にSNSで、実際の写真など載せてみてはいかがでしょうか。

委員 元原稿は、かなり古いものですね。そこから現在に至るまでの変化など原稿以外のエピソードも

知りたいですね。

委員 あとは朗読を聴いた後、当時生息した植物は今も残っているのかなど、疑問が残りました。朗読を放送するのもいいですが、専門の方をゲストにお呼びして、パーソナリティとの掛け合いの番組なども面白いのではないのでしょうか。気になった部分など番組内で質問できますし、なによりリスナーが聴きやすいのでは。故郷のことなら、協力をしてくれる方はたくさんいらっしゃると思います。

委員 あとすこし文語調すぎましたね。男性パーソナリティに読んでもらおうと、また違った印象の朗読になるのではないのでしょうか。

委員 このような番組は、コミュニティならではのので、宇治や城陽でも発掘されてはいかがですか。

委員 地域の昔の出来事や災害など、振り返り伝えていくことは、コミュニティ放送局だからこそできる大変意義のあることだと思います。